

Rotary Yonago East Weekly

【未来を創造し、ロータリーの楽しさを共に活動し、体感しよう！】

創立／1968年4月24日 ●事務所／米子市西福原1-1-55 スマイルホテル米子 Tel (0859) 32-5531
 ●例会日／水曜日12:30～13:30 ●例会場／ANAクラウンプラザホテル米子
 米子市久米町53-2 Tel (0859) 36-1111
 ●会長／上森 英史 ●幹事／岩崎 稔 ●会報／岡 宏徳

出席報告

会員数 109名
 出席数 66名 欠席数 37名
 出席免除会員 6名 荒川(雄)君 杉原(弘)君
 新納君 宮本(守)君
 高橋君 小谷君

出席率 65.42 %

ビジター

メイクアップ

岩崎(浩)ガバナー補佐
 (1/22 第3回ガバナー補佐会)

今週のお祝

主・夫人誕生祝：

2日 尾沢 三夫 君 12日 池口由紀彦 君
 14日 石井 敬薫 君 19日 宮本 寛雄 君
 24日 宮永 誠治 君 27日 木美 俊彦 君
 30日 野津 一成 君

スマイルBOX 26,000 円 (776,000 円)

創立記念日祝： 谷野君、荒川(圭)君、井上(賢)君
 本人誕生祝： 荒川(圭)君、谷野君
 主・夫人誕生祝： 荒川(圭)君、尾沢(三)君、石井君
 尾沢(裕)君、宮永君、木見君、野津君
 結婚記念日祝： 尾沢(裕)君

❖ 娘の千恵が1月10日(火)『今夜はナゾトレ』というクイズ番組でアベマリアを歌いました：佐田山(有)君

【 会 長 挨拶 】



皆さん、こんにちは。
 先週の挨拶で、前半戦は皆様のご協力により様々な活動ができたことを述べさせていただきました。後半戦につきましては資料の中に日程表を入れております。これを見て頂きながら後半はどういう行事があるか、どれに参加して自分のロータリー活動をどうしていくかということを考えて頂きたいと思っております。今日を入れてあと13回の例会があります。例会日、世界奉仕デーでセブ島の子供たちへ学用品を送る行事と、5月に芸場RCの歓迎会の予定を記載しております。IMが4月9日倉吉東RC主管で開催されます。全員登録となっております。(当クラブ コホスト)

前半戦は63%の出席率でコロナ禍では高い方だったと思っておりますが、2690地区では真ん中より下です。リーダーや同じ委員会のメンバーが声掛けをして頂くことで出席率が上がるかなと思っております。それが途中退会の防止にも繋がると思っております。

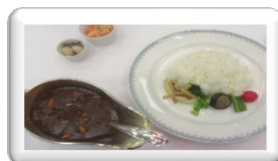
続いては、残食0のお願いです。欠席の場合は必ず連絡をして頂きたいと思っております。

そして会員増強です。女性会員が一人増えて109名になりましたが、あと2名くらい後半戦は頑張っていこうと思っております。

皆さんの協力のもと後半戦も一致団結して、米子東RCの活動が地域のためになることを願って挨拶とさせていただきます。宜しくお願いします。

《 幹 事 報 告 》

- (1) 2/10(金)第2グループ合同例会出欠、本日締切
- (2) 下期会費口座振替 2/10(金)の予定
来週、下期会費のご案内発送予定
- (3) 例会での食事ロス削減のため、出欠返信のご協力
よろしく願います
- (4) 他クラブの例会変更等について



<本日のプログラム>



「年男放談」



～ 新納 哲雄 会員 ～

「楽しいと思えば楽しい老後かな」ということで私は今年で84歳になります。耐用年数も過ぎ「お迎えはいつでも良いが今日はイヤ」という気持ちで頑張っております。天気の良い時は庭に出て、丁寧に歯磨きをしながら空想に耽っております。歯は大切にしています。現在28本の歯が全部残っております。私はまだ一本も抜いたことはありません。80歳で20本の歯を残そうという8020運動はクリアし、食べることについては全く不自由を感じておりません。80歳になっても誰もが自分の歯で食べられることを応援しています。8020に拘って車のナンバーも8020にして10年以上経ちます。サザエを食べながら「丈夫な歯、楽しみ増える老後かな」と一人ではしゃいでいます。虫歯や歯周病が原因で抜歯し入れ歯になったとしても、全く悲観することはありません。入れ歯になってからまた新しい人生が始まります。「長い人生、頑張り抜いて入れ歯磨いて今日も無事」というのがあります。どんなことがあっても前向きに生きることが大切なことだと思っております。外山滋比古先生が年をとっても動くことは絶対に必要だと言っておられます。流れる水は腐らない。動く事をやめれば活力を失い、動かなくなると生き物は死滅するのが自然の摂理であると動くことの大切さを強調しておられます。足の8020運動というのがあります。80歳で20分間きびきび続けて歩く運動です。私は足の8020運動は不合格です。5年ほど前から雨の日も雪の日もスズメに餌をやるために庭に出て、口笛を吹くと50から60羽ぐらいのスズメがやってきます。来てほしくない猫とかカラスがやって来ると見張りをしている一羽が高い場所から危機を伝えます。そうすると途端に全部飛び立ちます。自然界は我々が想像している以上に厳しいものがあるようです。夕方になると近くの小学校までよく散歩をします。電線に30羽ぐらいのスズメがとまっています。スズメに向かって口笛を吹くと反応を示し、みんな大変な喜びようです。また明日と言ってスズメと別れます。雪の降る寒い日に体をいっぱい膨らませた10羽ぐらいのスズメが庭の垣根で私の顔をじっと見て、いつも餌を頂きありがとうございますとお礼を言いに来たように思いました。私は、寒いからもう帰りなさいと言って手を振って別れました。暑くなると雀たちはだんだん食欲がなくなり、やって来るのも激減します。ある時、子スズメが元気がなく、つまらなそうな顔をして食べていました。いつもなら楽しく餌を食べるのに今日は全く元気がありません。何かあったの？どうしたの？と聞きますと、子スズメは昨年の猛暑でお父さんもお母さんも亡くなりました。私たち子供だけになってしまい、悲しく寂しいです。それで食欲もありません。私は、そんなにまで悲しがることはない。もうすぐ涼しくなると食欲が出てくるし、元気でそれまで頑張りなさいと言っておきました。小林一茶さんなら「我と来て遊べや親のない雀」と優しく言ったことだろうと思います。ご清聴ありがとうございました。



～ 井上 賢明 会員 ～

あけましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。

今日はせっかくの機会を頂き、12年後はどうなっているか分かりませんので今思っていることとお話しさせて頂きたいと思えます。老人とは一体何だろうかということの定義や老いた時の役割はどういったことがあるのかということ、それから今後どうやって生きていくのかということを見真面目に考えてきました。年寄りとは皮膚にシミやしわができ、耳も聞こえなくなり、目も歯も衰えてきます。やっぱり筋肉量の低下とか身長が縮んできたような気もします。老いを定義するのは千差万別で大変難しいなと思えます。自分が年だからと言って諦めることもあるし、諦めないで色々なことに興味を持ってまだまだ頑張らなきゃいかんと思ったりもしています。

父は終戦の時20歳で、シベリアに3年間抑留された経験がありましたが、私は家庭の中で聞いたことがありませんでした。70を過ぎた頃でしょうか、RCの例会でシベリア抑留の体験話をさせて頂いたこともあります。せめて自分の子供や孫には戦争の悲惨さとか敗戦して屈辱的な扱いを受けたこととかを伝えておきたかったのではないかと思っております。地域の小学校に行き色々な話を始めたのが70を過ぎてからだったように記憶しております。年をとってから我々が出来る事っていうのは何でしょうか。米子東RCに入会し、もう30年以上経ちます。様々な経験をしております。ロータリー歴の浅い人たちがロータリー活動の中で色々と思ひ悩み、どうしたらいいだろうかと疑問に思っていることに対して経験を多く積み重ねてきた者の役目としては、その疑問に答えてあげるのが役割かなと思えます。

郷愁と言えば、母が大山町の出身でしたから、小さい頃は山や川で魚を取ったりして過ごしていました。振り返ることがあまりにも多すぎます。青春時代は胸にトゲ刺すことばかりでしたが、現実には全く何の影響も及ぼさないと。老いてから何が出来るかと私なりに考えたことですが、死ぬことは誰も知らない。この不安な老いの中で生き抜いていくことに必要なのは、老いを無視するという結論に達しかけております。それ以外に道がないような気がしております。そんなことを確信しながら日々過ごしております。多少無理があっても興味のあることを探して老いを無視し、あと何年どうしてるか分かりませんが、生き甲斐を持って過ごしていきたいと思っております。ありがとうございました。